

## 【鳥羽市エコツアー推進協議会】

項目	内容
代表的なエコツアー	<p>■無人島カヤックツアー  (3～11月 ※8/13～15を除く)当日予約可  鳥羽湾の無人島(三ツ島)を目指してカヤックを漕ぎます。無人島に上陸して休憩したり暑い日には海に入ったりと自由な時間が過ごせます。  ・海島遊民くらぶ (<a href="tel:0599-28-0001">TEL:0599-28-0001</a>)</p> <p>■シークラフト体験  ※要予約  答志島の海岸で採取したシーグラス(瓶やガラスの欠片が波に揉まれて角が取れ、すりガラス状になったもの)を使ってアクセサリを作ります。  シーグラスは同じ形のものは二つとないと言われて  います。  ・島の旅社推進協議会(<a href="tel:0599-37-3339">TEL:0599-37-3339</a>)</p> <p>■海女小屋体験  ※要予約  令和元年に「日本遺産」に認定された、海女がたくさんいる相差町。海女さんが体を休める海女小屋「かまど」で、現役海女さんの話を聞きながら、食事やおやつを食べる体験ができます。  ・はちまんかまど予約センター(TEL:0599-33-1023)  ・相差観光協会(TEL:0599-33-6411)</p> <p>■海女に伝わる不思議体験「貝紫染め」体験  ※要予約(定員15名程度)  巻貝から分泌される染料で糸や布に染める「貝紫染め」を体験できます。海女たちは、この自然の染色法「貝紫」でイソテヌグイなどに魔よけの印を描いていました。  ・海の博物館(TEL:0599-32-6006)  ※詳細は海の博物館HPをご確認ください。</p>

エコツーリズム推進法の基本理念への活動状況	<p>〈自然環境の保全〉</p> <p>海に面した山々で放置されたウバメガシの間伐と利用の循環ビジネスモデルを構築しています。林業会社が間伐したウバメガシで、薪作りを始める一方、協議会でマーケティングを行い、地元の観光を始めとする事業者が薪の購入などで協力しています。</p> <p>〈観光振興〉</p> <p>例年、エコツーリズムを観光産業として発展させることを目的とした伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会の活動に参加しています。また、「ツーリズム EXPO ジャパン 2022」に参加し、鳥羽エコツーリズムのPR及び情報交換に努めました。</p> <p>〈地域振興〉</p> <p>漁業者が日々感じている「観光客へのおもてなし」の想いを形にするため、鳥羽磯部漁協和具浦支所からの依頼を受け、答志島和具産の希少な生わかめを鳥羽駅前で無料配布しました。</p> <p>〈環境教育の場としての活用〉</p> <p>例年当協議会では、市民や観光客を対象に地質学や生物学、地域文化について分かりやすく解説するエコツアーカフェ等を実施しています。令和4年度はエコツアーカフェの一環として、森里海を結ぶ実行委員会が主催する『第2回森里海を結ぶフォーラム』に共催し、長良川流域と伊勢湾の繋がりを見つめ直し未来について考えるフォーラムを開催しました。パネリストと観覧者からは積極的な意見交換が繰り広げられ、エコツーリズムの普及と故郷における交流機会の創出が図られました。</p>
特記事項	鳥羽市エコツーリズム推進協議会では、「循環」と「連携」をキーワードに鳥羽のエコツーリズムを進めるため、さまざまな団体が協議会に関わり、協議や仕組みづくり、普及啓発を行っています。